

2010年2月1日

報道関係各位

**カプセル内視鏡のパイオニア ギブン・イメージング
次世代小腸用カプセル内視鏡「PillCam® SB 2」
2月1日より国内販売を開始
視野角アップによる撮像面積の拡大と鮮明な画質を実現**

ギブン・イメージング株式会社（本社／東京都千代田区、社長／今江 博之）は、2010年2月1日より、次世代型小腸用カプセル内視鏡「PillCam® SB 2」の販売を開始いたします。

従来製品と比べ、画質が飛躍的に向上し、視野角を拡大させることにより、撮像面積が2倍以上になりました。また自動調光機能の採用により、近部から遠部まで鮮明な画像の撮影が可能となります。

画像診断システム専用のソフトウェア「RAPID® 5 Access」上において、この次世代型小腸用カプセル内視鏡「PillCam® SB 2」のパフォーマンスは最大限に発揮され、画像診断能を向上いたします。



<PillCam® SB 2 カプセル内視鏡>



<PillCam® SB 2 の画像>

<製品特長>

- ・ 視野角が 140 度から 156 度にアップし、撮像面積が大幅に拡大
- ・ 多層化レンズ採用により、画質が飛躍的にアップ
- ・ 自動調光機能採用により、近部から深部まで鮮明
- ・ 撮像時間が 8 時間以上

日本法人 ギブン・イメージング株式会社について

ギブン・イメージング株式会社（東京都千代田区、社長：今江 博之）は、世界で初めてカプセル内視鏡を開発し、現在世界のカプセル内視鏡市場において豊富な経験を持つギブン・イメージング社（Given Imaging Ltd. 2001 年 NASDAQ 上場）の日本法人であり、日本におけるカプセル内視鏡の製造販売会社です。

<ホームページ>

<http://www.givenimaging.co.jp>

ギブン・イメージング社について

ギブン・イメージング社は、2001 年から、PillCam[®]プラットフォームのコンセプトを基盤とした革新的で患者様に優しい先進的な消化管診断ツールを提供しています。PillCam[®] SB は小腸、PillCam[®] ESO は食道、PillCam[®] COLON は大腸の自然のままの消化管画像を提供します。PillCam[®]カプセル内視鏡は、患者様が嚥下するカプセル型の小型ビデオカメラです。ギブン・イメージング社では、他にもカプセル型製品を販売しています。PillCam[®]カプセル内視鏡が消化管を通過できるかどうか、開通性をみるための AGILE、胃食道逆流症(GERD)の pH 検査に使用する医療機器としては、カテーテルを使用しない唯一のワイヤレス 48 時間 pH 検査システムの Bravo があります。ギブン・イメージング社の製品は、最先端のワイヤレス通信技術とソフトウェアを使用することにより、より正確な消化管疾患の診断を可能とし、患者様には、より適切な治療を実現することができます。全てのギブン・イメージング社の製品は低侵襲性で、かつ無拘束であり、患者様は検査中も日常生活を送ることが可能です。ギブン・イメージング社の本社、工場、研究開発施設は、イスラエルのヨクネアムにあり、アメリカ、ドイツ、フランス、日本、オーストラリア、シンガポールに子会社があります。さらに詳しい情報が知りたい方はこちらをご覧ください。 <http://www.givenimaging.com>.

注)日本では、PillCam[®] SB および PillCam[®] SB 2 カプセル内視鏡(小腸用)が承認されています。大腸用の PillCam[®] COLON と PillCam[®] COLON 2、食道用の PillCam[®] ESO 2 はまだ承認されておりません。